

添付資料：視覚障がい者の現状

1) 全国の視覚障がい者の数

全国の視覚障がい者の数はおよそ 322,000 人^{※1}（令和 3 年）です。

2) 視覚障がい者をサポートする盲導犬

全国の盲導犬の数はわずか 848 頭（2022 年）、盲導犬 1 頭の育成におよそ 6 ヶ月～1 年、600 万円かかります。^{※2}

3) 音の出る信号機（音響信号機）の数と現状

警視庁 HP によると、全国の音響信号機はわずか 20,838 基。音響信号機が設置されていても、音の出る稼働時間を制限して日中のみにしているケースが 8 割超^{※3}もあり、視覚障がい者が「いつでも安全に外出できる」とは言い難い状況です。

東京都は、主要な生活関連経路を構成する原則すべての道路で音響式信号機の設置などバリアフリー化する目標を掲げており、平成 18 年時点で 99%達成としています。しかしこの目標はあくまで都が指定した「生活関連経路を構成する道路」のみを対象とした数値であり、JR の駅前ですら生活関連経路に指定されていないケースが多くみられます。^{※3}

現実に 2018 年には JR 駒込駅前で視覚障がい者の死亡事故が起こっており、更なるバリアフリー化が望まれています。^{※3}

4) 電柱の地下埋設率

電柱の地下埋設率（無電柱化率）は、国交省のデータより、東京都内が 5%、その他の都道府県はそれぞれ 3%にも満たない状況です。^{※4}

歩行者用道路の中に立つ電柱は視覚障がい者だけでなく、肢体が不自由な方の歩行の妨げにもなっています。

Eye Navi（アイナビ）では、利用者の進行方向に電柱がある場合は探知し、音声でお知らせすることができます。

5) 放置自転車問題

都内の駅周辺（駅から概ね半径 500m以内の区域）における自転車、原付及び自二を含む年間の乗入台数（駅前に停められた台数）は 527,694 台でした。そのうち 508,264 台（96.3%）が自転車等駐車場に駐車され、路上などに放置された台数は、19,430 台（R3 年。3.7%）でした。^{※5}

路上に放置された自転車は、視覚障がい者にとってぶつかったり、転倒したりして怪我



をする原因になります。また、放置自転車が点字ブロックの上に乗り上げて停められることで歩行の妨げにもなっており、健常者が思う以上に迷惑になっています。Eye Navi（アイナビ）では、利用者の進行方向に放置自転車等がある場合は探知し、音声でお知らせすることができますが、放置自転車全てを避け、点字ブロックのない歩道を安全に歩くことは物理的に難しく、放置自転車の対策も必要です。

(写真：東京都 JR 赤羽駅前・点字ブロックに放置自転車が乗り上げている様子)

6) 歩車分離道路への対応

近年、シェアードスペース（歩車共存道路）と呼ばれる「歩車道の段差等高さ（縁石等）での明確な区切りのない道路」での都市計画が提唱され、実際に島根県出雲市や兵庫県伊丹市などで実装されています。^{※6}

歩車道の境界には白線が引かれたり、歩車道で異なる素材の路盤が敷設されたりする他、ポール（車止め）や植え込みなどが整備されます。しかし視覚障がい者にとっては、白線や路盤の色の違いが判らないままで車道を歩いてしまったり、障害物にぶつかる・足を取られたりするなどの危険性が増えることが懸念されます。

Eye Navi（アイナビ）では、利用者の進行方向にポール（車止め）や植え込みがある場合は探知し、音声でお知らせすることができます。

◆参考資料

※1

令和3年度福祉行政報告例の概況

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/gyousei/21/index.html>

※2

R4.4.1 都道府県別実働頭数（HP）

<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001004818.pdf>

盲導犬訓練所 社会福祉法人 日本ライトハウス 盲導犬1頭にかかる費用は？

http://www.guidedog-lighthouse.jp/text/text03.html#1_7

※3

警察庁：都道府県別交通信号機等ストック数

<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/seibi2/annzen-shisetu/hyoushiki->

shingouki/pdf/R03kazu.pdf

警察庁：音響信号機に関するQ & A

<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/seibi2/annzen-shisetu/hyoushiki-shingouki/onkyou.html>

視覚障害者は「運を天に任せて」横断歩道を渡る 音響信号「99%」のカタクリ（毎日新聞：2020年12月29日）

<https://mainichi.jp/articles/20201229/k00/00m/040/175000c>

音響式信号機、8割が音の出る時間を制限 近隣苦情などで 無音時に死亡事故も（毎日新聞：2020年12月29日）

<https://mainichi.jp/articles/20201229/k00/00m/040/149000c>

※4

国土交通省：無電柱化の整備状況（都道府県）

https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/chicyuka/chi_13_02.html

※5

東京都内における放置自転車の現況

<https://www.tomin-anken.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/kakusyutaisaku/jitensha/houchi/jitensha-3/index.html>

※6

国土技術政策総合研究所 研究資料

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn1026pdf/ks102609.pdf>

国土交通省：2040年、道路の景色が変わる

<https://www.mlit.go.jp/road/vision/>